

授業科目等の概要

(工業専門課程音響・映像メディア学科) 令和6年度															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○		生き方講座Ⅰ	社会人並びに職業人として望ましい職業観・就労観を育成する。また、就職活動に関する知識を身に付けさせる。	1 前	32	1			○	○	○			
2	○		生き方講座Ⅱ	社会人並びに職業人として望ましい職業観・就労観を育成する。また、就職活動に関する知識を身に付けさせる。	1 後	32	1			○	○	○			
3	○		生き方講座Ⅲ	社会人並びに職業人として望ましい職業観・就労観を育成する。また、就職活動に関する知識を身に付けさせる。	2 前	32	1			○	○	○			
4	○		生き方講座Ⅳ	社会人並びに職業人として望ましい職業観・就労観を育成する。また、就職活動に関する知識を身に付けさせる。	2 後	32	1			○	○	○			
5	○		文章技術	明快で論理的な「レポート」「実習報告書」等の作成能力を育成すると共に、論理的な思考を養う。	1 前	32	2	○			○		○		
6	○		コンピュータ実習Ⅰ	ビジネス活動に必要となるワープロ、表計算、プレゼンテーションの各ツールの基礎及び活用について学ぶ。	1 前	32	1			○	○	○			
7	○		コンピュータ実習Ⅱ	ビジネス活動に必要となるワープロ、表計算、プレゼンテーションの各ツールの基礎及び活用について学ぶ。	1 後	32	1			○	○	○			
8	○		コミュニケーション	自己のコミュニケーション能力を多面的に分析するとともに日常的な会話やビジネスシーンなどいろいろなコミュニケーション場面を設定し、それぞれの考え方や対処方法を体験的に学ぶ。	1 前	32	2	○			○	○			
9	○		プレゼンテーション	効果的なプレゼンテーション資料を作成することができ、それをを用いて説得力のあるプレゼンテーションを行えるように実践的に学ぶ。	1 後	32	2	○			○	○			
10		○	ビジネスマナー	実社会で必要な言葉使い、挨拶、行動、考え方などについてシミュレーションを通じて体験的に学習する。	2 後	32	2	○			○		○		
11	○		音響理論Ⅰ	音声の特性や收音技術に関する基礎技術理論の学習を行う。	1 前	32	2	○			○	○			
12	○		音響理論Ⅱ	音声の特性や收音技術に関する基礎技術理論の学習を行う。	1 後	32	2	○			○	○			

13	○	音響理論Ⅲ	放送業務に関わる上で必要な機器の知識と活用方法を学ばせ、音響技術者の育成を目指す。	2前	32	2	○			○	○		
14	○	音響理論Ⅳ	放送業務に関わる上で必要な機器の知識と活用方法を学ばせ、音響技術者の育成を目指す。	2後	32	2	○			○	○		
15	○	映像理論Ⅰ	映像信号の構成、動画の仕組み、実際の映像制作に関する基礎技術理論の学習を行う。	1前	32	2	○			○	○		
16	○	映像理論Ⅱ	映像信号の構成、動画の仕組み、実際の映像制作に関する基礎技術理論の学習を行う。	1後	32	2	○			○	○		
17	○	映像理論Ⅲ	映像コンテンツを制作する上で必要な機器の知識と活用方法を学ばせ、映像制作、映像管理技術者の育成を目指す。	2前	32	2	○			○	○		
18	○	映像理論Ⅳ	映像コンテンツを制作する上で必要な機器の知識と活用方法を学ばせ、映像制作、映像管理技術者の育成を目指す。	2後	32	2	○			○	○		
19	○	音響実習Ⅰ	PA技術、録音技術の基礎を、実体験を通じて学習させる。	1前	96	4	△			○	○		○
20	○	音響実習Ⅱ	PA技術、録音技術の基礎を、実体験を通じて学習させる。	1後	96	4	△			○	○		○
21	○	音響実習Ⅲ	音響実習Ⅰ・Ⅱで習得した技術をベースに、本格的なレコーディング作品の制作や業界で通じる高度な専門技術を学習する。	2前	96	4	△			○	○		○
22	○	音響実習Ⅳ	音響実習Ⅰ・Ⅱで習得した技術をベースに、本格的なレコーディング作品の制作や業界で通じる高度な専門技術を学習する。	2後	96	4	△			○	○		○
23	○	映像実習Ⅰ	撮影技術、編集技術、照明技術、収録技術の基礎を体験的に学習させる。	1前	96	4	△			○	○		○
24	○	映像実習Ⅱ	撮影技術、編集技術、照明技術、収録技術の基礎を体験的に学習させる。	1後	96	4	△			○	○		○
25	○	映像実習Ⅲ	映像実習Ⅰ・Ⅱで習得した技術をベースに、本格的な作品制作や業界で通じる高度な専門技術を学習する。	2前	96	4	△			○	○		○
26	○	映像実習Ⅳ	映像実習Ⅰ・Ⅱで習得した技術をベースに、本格的な作品制作や業界で通じる高度な専門技術を学習する。	2後	96	4	△			○	○		○
27	○	デジタルサウンドⅠ	電子音楽機器の技術理論とオリジナル作品の制作手順を学習する。	1前	32	1				○	○		○
28	○	デジタルサウンドⅡ	デジタルサウンドⅠで習得した技術と基礎をベースに本格的なサウンド制作を行う。	1後	32	1				○	○		○

29	○		ビジュアル ツールⅠ	コンピュータソフト（フォトショップ、イラストレーター）を活用して、画像処理、画像加工、デザイン画作成を学習する。	1 前	32	1				○	○	○					
30	○		ビジュアル ツールⅡ	コンピュータソフト（フォトショップ、イラストレーター）を活用して、画像処理、画像加工、デザイン画作成を学習する。	1 後	32	1				○	○	○					
31	○		照明技法Ⅰ	テレビ番組照明、映画照明、コンサート照明などにおける照明機器の扱いや照明を用いての表現など照明について幅広く学ぶ。	1 前	32	2	○				○					○	
32	○		照明技法Ⅱ	テレビ番組照明、映画照明、コンサート照明などにおける照明機器の扱いや照明を用いての表現など照明について幅広く学ぶ。	1 後	32	2	○				○					○	
33	○		色彩学Ⅰ	色の基本を知ることによって色を操作出来る力をつける。また、色の心理の知識を深め色が及ぼす作用を映像に結びつけ、効果的な作品づくりに役立てる。	1 前	32	2	○				○						○
34	○		色彩学Ⅱ	色の基本を知ることによって色を操作出来る力をつける。また、色の心理の知識を深め色が及ぼす作用を映像に結びつけ、効果的な作品づくりに役立てる。	1 後	32	2	○				○						○
35	○		CGⅠ	2D、3Dグラフィックスの基礎理論と作成技術を学習する。	1 前	32	2	○				○						○
36	○		CGⅡ	2D、3Dグラフィックスの基礎理論と作成技術を学習する。CG作成ソフトを使用し、モデリングからアニメーション、ムービーファイルの作成までを実践的に学ぶ。	1 後	32	2	○				○						○
37	○		アナウンス講 座	アナウンサーの養成講座。明瞭な発声方法や正しい言葉使いなどアナウンス技術を実践的に学ぶ。	1 後	32	2	○				○						○
38		○	映像演出Ⅰ	良質な映像作品や番組制作に必要なものは技術だけではなく、的確な表現や正しい時事の扱いが必要になることを本学習で理解させる。映像ディレクターの基本を学ぶ。	2 前	32	2	○				○						○
39		○	映像演出Ⅱ	良質な映像作品や番組制作に必要なものは技術だけではなく、的確な表現や正しい時事の扱いが必要になることを本学習で理解させる。映像ディレクターの基本を学ぶ。	2 後	32	2	○				○						○
40		○	DAWI	音声編集ソフトを使用し、音声データの編集、加工、音質調整等、実践的な実習を行う。	2 前	32	1					○	○					○
41		○	DAWⅡ	音声編集ソフトを使用し、音声データの編集、加工、音質調整等、実践的な実習を行う。	2 後	32	1					○	○					○
42		○	デジタルメ ディアⅠ	ネットワークコンテンツの発信方法を学び、Webページの作成、映像コンテンツの配信、インターネット放送など通じて、新しい情報発信方法を体験的に学ぶ。	2 前	32	1					○	○					○
43		○	デジタルメ ディアⅡ	ネットワークコンテンツの発信方法を学び、Webページの作成、映像コンテンツの配信、インターネット放送など通じて、新しい情報発信方法を体験的に学ぶ。	2 後	32	1					○	○					○

44	○	イベント企画 I	企業のPRイベントから、音楽家のコンサートまで幅広く、イベントの企画から予算管理、交渉、実際の運用までを学習する。	2前	32	2	○			○	○		
45	○	イベント企画 II	企業のPRイベントから、音楽家のコンサートまで幅広く、イベントの企画から予算管理、交渉、実際の運用までを学習する。	2後	32	2	○			○	○		
46	○	PA技術	コンサートエンジニアに必要なPA機器の取り扱い方や運用方法など、それらの理論と技術を体系的に学習する。	2前	32	2	○			○		○	
47	○	レコーディング技術	レコーディング技術の基礎的な知識と、レコーディングを行なう音響機器の機能、構造操作技術を学習する。	2後	32	2	○			○		○	
48	○	CM制作	テレビCMの意義や必要性を学習することで、実際の制作課程やCMの目的について理解させることを目標とする。	2前	32	2	○			○		○	
49	○	VP制作	ブライダル映像、イベント記録映像、商品紹介映像などの放送番組以外の映像コンテンツの活用方法を、作品制作を通じて学習させる。	2後	32	2	○			○		○	
50	○	ステージ照明	舞台照明のためのライティング技法を学習し、ステージ制作の一端を担う照明の基礎知識と技術を養成する。	2前	32	2	○			○		○	
51	○	ステージ制作	コンサート・イベントなどにおける制作の基本的な知識を学習。舞台、ステージ制作者に必要な知識・技術を養成する。	2前	32	2	○			○		○	
52	○	演技・表現技法	演劇などの表現方法を学ぶことで、音響・映像制作者としての感性を磨くことを目標とする。また、実社会で対人関係を良好にするために、身体や言語を用いて感情を表現しコントロールする術も学習させる。	2後	32	2	○			○		○	
53	○	ラジオ番組制作 I	ラジオ番組の企画立案・制作・出演・編集から完パケまでを行い、ラジオ放送することにより、現在のラジオ番組制作の流れ・手法等を学ぶ。	2前	64	3	△			○	○	○	○
54	○	ラジオ番組制作 II	ラジオ番組の企画立案・制作・出演・編集から完パケまでを行い、ラジオ放送することにより、現在のラジオ番組制作の流れ・手法等を学ぶ。	2後	64	3	△			○	○	○	○
55	○	ビデオコンテンツ	各種映像コンペティションに作品を出品することを目的とした実習。	2前	64	3	△			○	○	○	
56	○	映像卒業制作	映像技術、理論を学習した成果をまとめる卒業制作。	2後	64	3	△			○	○	○	
57	○	音響映像資格対策講座	映像音響処理技術者資格認定試験、サウンドレコーディング技術認定試験、プロツールズ技術認定試験等、音響、映像に関する資格・検定試験の合格を目指し、模擬問題を用いて対策講座を行う。	2前	32	2	○			○		○	
58	○	メディア応用技術	映像、音声、照明に関する情報の記録、伝達、保管に用いる装置や仕組みなどについて学ぶ。	2後	32	2	○			○		○	

59	○		コンサート実習Ⅰ	公共施設であるコンサートホールを利用し、P A 技術、レコーディング技術、照明技術、映像収録技術、舞台制作技術を実践的に学習させる。	1 前	32	1			○	○	○	○	○	○
60	○		コンサート実習Ⅱ	公共施設であるコンサートホールを利用し、P A 技術、レコーディング技術、照明技術、映像収録技術、舞台制作技術を実践的に学習させる。	2 前	32	1			○	○	○	○	○	○
61		○	インターンシップ	連携企業においてインターンシップを行う。	1 後	64	2			○	○	○	○	○	○
合計						61	科目		2624	単位時間	126	単位			

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 所定の修業年限以上在学し、卒業に必要な単位数を修得した者		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 学科・クラス毎に定められた時間割に則って履修する。		1 学期の授業期間	16 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。